

# 第1回きずなづくりトーク（坂小学校区） 概要記録

平成24年7月13日  
坂公民館

発言者	発言要旨
テーマ みんなでふれあい創出	
自治会長	子ども、特に小中学生がほとんどいない。見晴らし学園で駐車場の清掃を行っている。7月15日のお天王さんの祭りに町内の人を招待する。
自治会長	市からの補助を得て、箱根山麓の草刈を年2回行っている。その時、普段接点のない農家とサラリーマンとが交流できるので続けていきたい。
自治会長	草刈は年3回、お祭りは年4回やっている。婦人会、老人会、子ども会があるが、団体間の交流はほとんどない。
自治会長	老人会は、年2回市からもらった花を植えている。自治会はその活動のバックアップをしている。子ども会は独自で活動しているので、一緒に活動することはない。三ツ谷の最大イベントは祭り。防災研修時に感じたが、祭りをやっている地区の方がやっていない地区より団結力が強い。祭りは7月に3日間行うが、日程に土日が入るようにしている。午前中は神社の式典を行い、午後は子ども達がシャガリとカラオケを行ったり、歌手を招待してコンサートを開催している。祭りが終わった後は参加者と酒を飲み交わしている。
自治会長	年2回の奉仕作業、年2回の山神社の祭典を行っている。特に力を入れているのは、8月末に行う甲申さんの祭りと子ども相撲。町内に小学生以下の子どもが13人しかいないので、各地区の子どもに来てくれるよう声をかけている。
自治会長	台崎には14戸しかない。子どもは6~7人ほどしかない。町内の男だけで泊まりでバス旅行に行っている。年間行事はお祭り、観音講など。祭りの時に子どもを呼んで何かをしたいが、人が足りない。
自治会長	昔は妙法さんの祭りをやっていたが、なくなってしまった。地域の高齢化が深刻で、つながりも弱くなってる。アンケートを取ったら、玉沢、台崎で20~30代男子が14戸にしかないことがわかった。消防団も平均年齢が40代で厳しい状態だと思う。
民生委員	坂地区の高齢者は少なく、家族と一緒に暮らせているので民生委員として問題を感じることはない。
民生委員	市山には一人暮らしの高齢者世帯が2軒ある。2軒とも元気な方。町内も40戸で小さな部落なので誰が何をしているかわかっている。
民生委員	山中は35戸中、8軒が一人暮らし高齢者なので割合は高い。民生委員として一人暮らしの高齢者の訪問は行っているので問題はない。
小学校PTA	PTAとしては学校主体の行事の手助けをしている。朝のあいさつ運動では、坂地区は子どもの人数が少なく、通勤手段も車が多いので、2、3人の子どもにししか会えない。坂小学校は名札がないので、名前と顔を一致させるのが難しい。
子ども会	子ども会では、夏休み中に親子のレクリエーションとして、みんなで1日出かけている。校区内で子ども会があるのは三ツ谷、市山、笹原。
幼稚園	小学校との交流を兼ねて、農事体験でとうもろこしや大根の栽培をさせてもらっている。校区の運動会で幼稚園のダンスを披露している。公民館祭りでも幼稚園児の日々の活動を紹介している。月に1度、未就園児を幼稚園に招待して交流会を行っている。

発言者	発言要旨
幼稚園PTA	地域の体育祭、盆踊りに幼稚園として参加している。人数が少ないので親同士のつながりが強い。
小学校長	坂小学校の児童数は85人だが、4割強が坂地区以外から通っており、坂地区から通っているのは6割。児童が少ないことから、4つの仲良しグループを作って1～6年が全員友達となるようにしている。合唱、ダンスなどで異年齢集団を作っている。音楽会では4、5、6年生が三度、市民文化会館で披露した。普段の授業の中でもきずなを作りたい。
体育振興会	毎年、盆踊り、運動会、文化祭などを行っている。運動会は高齢化によって集まりが悪くなっている。坂小学校、坂幼稚園が協力してくれるので、子どもが出てくれるから親も出てくれる。子どもがいない世帯は、運動会にあまり出てくれないので、どうやって参加させていくかが課題。会場が遠い人が多いので、高齢者は歩いて来るのが大変。
保健委員	声があまりかかっていないので、3日体操などにはあまり参加していない。
スポーツ推進委員	健康が第一。小子高齢化が急激なので、対応が取れない。運動会への参加者が年々減っている。防災訓練と合わせて開催するなどの工夫が必要。運動することで健康になるので、病院に行く回数も減る。地域でスポーツを盛り上げたい。子ども達は、地域でソフトボール、バレーボールをやっている。市としてもスポーツへの予算を増やしてくれれば、企画が立てられる。
自治会役員	山中は毎月、組ごとに全員参加で防災訓練を行っている。今では女性の方でも消火栓に器具を接続して水を出せるレベルになっている。顔を合わせたときの会話が昔と比べて少なくなってきた。
消防団長	分団の任期が12年なので、年上年下12歳までの付き合いができる。PTAをやった時、人間関係が築けていてやりやすかったので、消防団をやっている良かったと思う。地域の方と接する機会は少ないが、防災訓練、消火器の使い方、AEDの操作などの指導を行っている。台風の時、パトロールを行った。
環境美化推進委員	山中城跡公園で犬を放している人がいて、モラルがひどい。フンの後始末をしない。看板を立てるなどの対策を考えている。
環境美化推進委員	地元では不法投棄はない。PTAがゴミ回収に協力している。山中城の犬のフン害にも対応していく。
スポーツ少年団	16名の部員がいる。あいさつを教えていき、コミュニケーションを取れる子どもになるよう育てていきたい。
スポーツ少年団	ソフトボールを通じて子ども達の健全育成を行っていききたい。子どもが運動できる施設を作ってくれて市長には感謝している。徳倉小と北小のチームがソフトボールの全国大会に出場する。
体育振興会	7月7日、12チームでソフトバレー大会を実施した。10月7日に体育祭を開催する。坂小、坂幼稚園と先生方には大変お世話になっている。高齢化が一番のネック。
自治会役員	笹原のきずなから、坂小学校区のきずなに広げていきたい。まずは祭り、草刈などの活動を大事に続けていき、そこから地域の運動会、文化祭など違ったものへの参加につなげていきたい。
自治会役員	三ツ谷自治会は役員が11名いるがまとまっている。坂地区の各自治会長も力を合わせて活動している。子どものお祭り「道祖神まつり」がある。子どもは地域の宝事業で支援を受けたので、子どもにお菓子を買ったり、老人会で子どもに道祖神についての説明会を行っている。
自治会役員	きずなは普段の生活の中にあるので、それをこれから大切に保っていきたいのでは。

発言者	発言要旨
自治会役員	防災では、消防団員の高齢化が問題。消防団を合併すると活動範囲が広がってしまっていて大変。県道が整備されたことで、夜間、通行者がゴミをポイ捨てしていく。
自治会役員	坂地区は近所付き合いが上手だと思う。恵明学園の子ども達は向こうからあいさつしてくれるので、しっかり教育してくれているのだと思う。震災の影響で近所のつながりが重要視されているので、高齢者から子ども達に人付き合いについて教えていきたい。
自治会役員	台崎の県道(三ツ谷・谷田線)の交通量が増加しているので、ゴミのポイ捨てが増えている。
自治会役員	これまでは仕事ばかりで地域との交流がなかった。町内会の役員となったので、何かしなくてはと思っています。今日の話聞いてとても勉強になったので、できることをやっていく。
自治会役員	サラリーマンと農家のふれあいを作らなければならない。お互いが歩み寄っていくべき。
自治会役員	東北の大震災後、被災地では近所で助けあってきたことからきずなが重視されるようになった。坂地区には他の地区と違う良さがある。少子高齢化で坂小学校の児童数が減っている問題をどうやって解決するかが重要。一方で、新しい人が移住してくるときずな作りに苦労する。体育祭、盆踊りなどを楽しみにできれば、近所のつながりができると思う。
自治会役員	今日の話聞くと、忙しい中いろんな活動をしていて感心する。これからも活動を続けていくことが大事。
自治会役員	今日の話聞いて勉強になった。きずな作りの基本はあいさつだと思うので、これからは自分が率先して声かけを行っていきたい。
自治会役員	台崎は14軒しかない。高齢者が亡くなったりして実質10~11軒で役員を回している。人数が少ない分、きずなが強いと思う。
自治会長	錦田小学校で防災の図上訓練を行った。対策本部の立ち上げ方、地域の振り分けなど、図上で考えるだけでも難しかったので、実際に震災があったらパニックしてしまうのでは。坂地区は皆が顔見知りだから心強い。
民生委員	錦田中の支援委員をやっている。坂小、錦田中ではいじめなどの事件は起きていないが、それは地域のきずなが強いからだと思う。子ども達が悪さをしないように、声かけをしてほしい。